

産学公技術交流会 “目からうろこ第15弾！” (報告)

1、はじめに

山梨工業会東京支部と東京都立産業技術研究センターの共催で、2018年2月16日(土)に“目からうろこ第15弾！”がDari K(株)はじめ7社の協賛を得て開催されました。

当日は100名にのぼる多くの参加者がありました。

伊藤支部長の開会挨拶で、目からうろこの交流によって初めて生まれた事例の紹介から始まり、長野理事の司会で5つの講演がありました。興味深い講演が多かったことで、参加者には大変好評でした。参加者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

2、技術関連講演

(1) トンネルの作り方について

日本コンクリート工業株式会社 執行役員 吉成寿男氏

日本コンクリート工業は、コンクリート製品を通じて、安心・安全で豊かな社会づくりに貢献している会社である。「トンネル」は重要な社会インフラであるが、地下に建設されるため現場を知る機会は極めて少ない。「トンネル」の種類や建設方法について現場の実例を挙げながら、詳しいお話を聞き、参加者は大変興味深く拝聴することができた。

(2) 交流磁界の磁束による非破壊検査

偕成エンジニア株式会社 代表取締役 小濱博明氏

偕成エンジニアは、「MDK (Magnetic Detector Kaisei)」センサという電磁誘導方式を使用した、金属の内部情報を得られる非接触・非破壊検査装置を開発・販売している会社である。この技術は、強磁性体、常磁性体、反磁性体であっても導電体であれば、内部や外部の検査が可能であることを、数多くの実例を挙げてご紹介頂き、拡大する社会インフラ検査への「MDK」技術の適応の可能性を、参加者は大いに関心を持って聴くことができた。

(3) たかが塗装 されど塗装

東京都立産業技術研究センター 顧問 鈴木雅洋氏

都産技研は「ものづくり産業の総合的支援活動を幅広く行っている機関」である。鈴木氏が長年携わってきた、製品の表面に施される「塗装」は、一見加工が容易と思われがちであるが、実は仕上がりまでに関わる因子が多く、数値化して管理しにくいなど、実際には高度な技術が要求される。「塗装」のプロセスをご紹介頂き、身近な製品の「塗装」の実例を挙げ、「塗装」の重要性と品質を安定化させることの難しさをお話し頂き、「塗装」の奥深さを参加者で共有することができた。

(4) ワインよもやま話

マンズワイン株式会社 代表取締役社長 島崎 大氏

キッコーマングループのマンズワイン株式会社は、「日本がおいしくなるワイン。」を目指して、日本屈指のワイン産地山梨・長野でワインの製造、ワイナリーの運営している会社である。島崎氏が、入社後に長年携わってきた「ワイン」づくりの知見をもとに、種々の「ワイン」のつくり方から、「世界一……の国は？」と世界に目を向けた「ワイン」の市場の動向、「ワイン」にまつわるカタカナ言葉など、参加者の皆さんが「ワイン」の飲みながら話を盛り上げるのに役立つ幅広い知識を得ることができた。

(5) オリンプス医療事業の歩みと今後の展望

オリンパス株式会社 取締役 専務執行役員 田口 晶弘氏

オリンパスは、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」を目指す会社である。田口氏が入社以来一貫して携わってこられた、世界トップシェアを誇るオリンパスの「内視鏡」の進化と、並行して進化する処置・治療方法、更にはオリンパスが目指す医療事業の将来像をお示し頂き、「内視鏡」による早期診断、低侵襲治療がとて身近なものになっていることを、参加者の皆さんで実感することができた。

4、おわりに

今回の講演は、それぞれ関心の高いテーマでした。

さらにまたこの産学公交流会によって新しい交流事例が生まれることを期待しましょう。

講演会終了後は食堂で懇親会を開催し、約80名の参加者を得てここでも大いに盛り上がり、参加者の皆さんは相互に親睦を深められました。今回は、ケータリングによる食事の準備をおこないましたが、料理もおいしく好評でした。

次回も振るって皆さんがご参加くださるようお願い致します。

5. 公流会講演、懇親会の様子

下記の URL にて写真をご覧ください。

↓↓↓

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DzADKCCVKxC>



伊藤支部長が「IOT の活用事例を報告」



講演会の状況



産技研鈴木顧問が「たかが塗装されど塗装」を講演



月岡事務局次長が締めの挨拶をしてお開き